

科目名	インターンシップ		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年		ク ラ ス	1Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターンシップとは、学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のことである。大学における社会につながる人材育成の一環として、社会の変化や産業界のニーズに対応し、社会における能力発揮を目的とし、社会とのつながりを考えられる力を育成する。インターンシップを活用し、職業活動なども視野に入れ、学生自らが職業適性や将来設計について考える貴重な機会としてほしい。

内容

1. 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種を限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的にあったものを行う。学生は企業でのインターンシップの学習プログラムにそって研修を行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味から実習に対しては無報酬が原則。

2. 実施手順

ガイダンス - 5月上旬に実施されるガイダンスで詳細の説明を行う。参加希望者は必ず出席すること。

実施 - 夏季休暇期間中(前期)、または春季休暇期間中(後期)を中心に約2週間(実質10日、実労60時間以上)研修を行う。

申込 - キャリアセンターが受入先の情報提供を行うが、学生が自己開拓で企業を探すことも可能。受入先が確定次第、「インターンシップ申込書」をキャリアセンターに提出。

事前指導 - キャリアセンターがビジネスマナーなどの事前指導を行う。

担当教員 - 就職委員が期間中に訪問し、巡回指導を原則行う。

3. 実施例

パスポートセンター、住信ビジネスサービス、プリンスホテル、ベルク 他

評価

学 生 - 学習の成果をレポートにまとめる。インターンシップ終了後2週間以内に「科目追認願」を教務課に提出し、科目登録を行う。

受入先 - 受入先の担当責任者から実習内容の評価を記した「評価表」を徴求する。又、実施期間中に担当教員が受入先を訪問する巡回指導を原則行い、実施状況をとらえる。

以上、学生のレポート(40点)、受入先評価(40点)、教員による巡回指導の状況確認(20点)を総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

使用しません。

科目名	インターンシップ		
担当教員名	東 聖子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年		ク ラ ス	2Aクラス
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

インターンシップとは、学生が企業等において実習・研修的な就業体験をする制度のことである。大学における社会につながる人材育成の一環として、社会の変化や産業界のニーズに対応し、社会における能力発揮を目的とし、社会とのつながりを考えられる力を育成する。インターンシップを活用し、職業活動なども視野に入れ、学生自らが職業適性や将来設計について考える貴重な機会としてほしい。

内容

1. 内容

特定企業での勤務体験をめざす「企業体験型」、特定の職種を限定した「職業体験型」、職種や企業にこだわらず職業体験を重視する「労働体験型」などがあり、自己の目的にあったものを行う。学生は企業でのインターンシップの学習プログラムにそって研修を行う。インターンシップはあくまで授業の一環として行われるものであり、アルバイトとは異なる。その意味から実習に対しては無報酬が原則。

2. 実施手順

ガイダンス - 5月上旬に実施されるガイダンスで詳細の説明を行う。参加希望者は必ず出席すること。

実施 - 夏季休暇期間中(前期)、または春季休暇期間中(後期)を中心に約2週間(実質10日、実労60時間以上)研修を行う。

申込 - キャリアセンターが受入先の情報提供を行うが、学生が自己開拓で企業を探すことも可能。受入先が確定次第、「インターンシップ申込書」をキャリアセンターに提出。

事前指導 - キャリアセンターがビジネスマナーなどの事前指導を行う。

担当教員 - 就職委員が期間中に訪問し、巡回指導を原則行う。

3. 実施例

パスポートセンター、住信ビジネスサービス、プリンスホテル、ベルク 他

評価

学 生 - 学習の成果をレポートにまとめる。インターンシップ終了後2週間以内に「科目追認願」を教務課に提出し、科目登録を行う。

受入先 - 受入先の担当責任者から実習内容の評価を記した「評価表」を徴求する。又、実施期間中に担当教員が受入先を訪問する巡回指導を原則行い、実施状況をとらえる。

以上、学生のレポート(40点)、受入先評価(40点)、教員による巡回指導の状況確認(20点)を総合的に判断して評価を行い、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

使用しません。

科目名	基礎ゼミ		
担当教員名	教員未設定		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年		ク ラ ス	
開 講 期		必修・選択の別	
授 業 形 態		単 位 数	
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

学生が卒業するまでの間に履修する他の履修科目との関係

科目の概要

学生が一読してこの科目の概要を理解できるように100文字程度で

学修目標

何をどのように勉強すれば単位が修得できるか

箇条書き3～5項目程度に焦点化して記載し「評価」と関連するよう配慮する

項目立てしなくても可

内容

1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	
12	
13	
14	
15	まとめ

評価

評価の割合を具体的に明記し、単に総括的な一回限りの試験のみで評価することがないように配慮

例：レポート3割(30%) 筆記試験7割(70%) 60点以上を合格とする

「出席点」「Attendance」は、評価の観点や要素として入れない

合格点に満たなかった場合「再試験」実施する場合はその旨を明記

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】または【テキスト】 著者名，書名，出版社名，プリント配布，授業で指示する、使用しない 等 必ず明記
教科書等の有無について明記

【推薦書】読んでおくと望ましい資料（3点程度まで・任意）

【参考図書】 事典辞書類，教室で紹介する など

科目名	情報処理演習		
担当教員名	高倉 佐和		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は、共通科目に開講される選択科目のコンピュータ演習の授業です。1年次の「情報処理演習」が基礎になっています。

科目の概要

1年次履修の「情報処理演習」の内容をふまえて、Word、Excelのより高度な操作技術を学びます。さらにAccessの基本操作とWebページのしくみを学習します。情報の収集・処理・発信に必要な基礎的知識や態度を身につけます。

学修目標

- 1.Word、Excel、PowerPointを使い、より高度な操作技術を習得する。
授業では、毎回のテーマに沿った課題を完成させるための内容を説明後、その手法を必要とする例題で練習を行い、最後には与えられた課題を完成させます。与えられた課題から、さらに発展させてオリジナリティを求めるものもあります。
- 2.Accessを用いて、データベースの基礎を理解できる。
- 3.Webページのしくみを理解し、基本的なHTMLタグを使ってWebページを作成することができる。

内容

以下の内容は、履修する皆さんの興味や授業の進度によって、多少変更する可能性があります。

- 1～2.総合演習(1) Word・Excel(1年次の復習)
- 3～4.Excelの活用(1) 数式といろいろな関数
- 5～6.Excelの活用(2) ワークシートの操作など
- 7.総合演習(2) Excel(目的に応じたグラフの作成)
- 8～9.総合演習(3) Excel(データベース機能)
- 10.総合演習(3) Excel(データの集計・分析)
11. Wordの応用(1) 論文・長文用の機能
- 12.データベースの基礎(1) Accessの基本操作
- 13.データベースの基礎(2) テーブルの操作
- 14～15.データベースの基礎(3) データベースの設計
- 16～17.PowerPointの活用(1) プレゼンテーションの技法
- 18～20.PowerPointの活用(2) プレゼンテーション資料の作成と発表
21. Web利用の徹底(資料の収集・データの整理と分析)
- 22～23. 基本的なHTMLタグの使い方
- 24～25. 画像の配置、リンクの設定
26. サイトの設計
27. サイトの作成
- 28～29. 応用演習 ソフトの統合利用

30.まとめ

評価

テーマ毎の課題作成（60％）、通常の授業態度（40％）により評価を行います。
その他、演習科目に準じ、欠席が通年6回未満で評価を受けることができます。
ただし、連絡をすれば就職活動は優先します。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

教材は、毎回プリントを配布します。

【参考図書】実教出版『60時間でエキスパート Word&Excel』

その他随時教室で紹介します。

科目名	国語表現		
担当教員名	武田 比呂男		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選必, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

内容

評価

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

科目名	選択英語		
担当教員名	柿元 資子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	通年	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

ねらい: 初めて一人で海外旅行する女子学生のビデオを観ながら空港でのやりとりからショッピング、ホームステイ、学校などにおける日常生活に起こりやすい状況での重要な英語表現を楽しみながら身につけていく。

学修目標: 1. リスニングの強化 2. 語彙の増強 3. 表現力の強化 4. アメリカ生活及び文化、風習に対する知識の習得

内容

前期: 1週目、2週目: On a Flight 3週目: Immigration 4週目: Customs
5週目: Checking in at a Hotel 6週目: Seeing the Room 7週目: まとめ

8週目: Guest Services 9週目: Checking Out 10週目: Tourist Information
11週目: Taking a City Bus 12週目: Taking a Taxi 13週目: Renting a Car
14週目: Asking Directions 15週目: まとめ

後期: 1週目: At a Museum 2週目: At a Golf Shop 3週目: Going to the Theater
4週目: At a Department Store 5週目: Shopping for a Souvenir
6週目: Breakfast at a Hotel 7週目: Lunch at a Fast-Food Place 8週目: まとめ
9週目: Making a Dinner Reservation 10週目: Dinner at a Restaurant
11週目: At a Post Office 12週目: Making a Phone Call 13週目: Lost and Found
14週目: Going to a Doctor 15週目: まとめ

評価

試験 80%、授業内貢献度 20%

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

First Time Abroad, Seibido

科目名	女性と法律		
担当教員名	阿部 史		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

女性の家庭生活および職業生活に関わる法律を取り扱います。具体的には民法家族法(親族・相続)の基礎を学び、働く女性を取り巻く環境と法律・制度との関わりについて検討することになります。

現代の日本社会においては、個人の価値観が多様化し、それに伴い家族生活も多様化しています。これは夫婦別姓、シングルマザー、離婚の増加に現れている通りです。また、少子高齢化の進行は今までにない新しい家族の問題を生んでいます。子のない夫婦の養子縁組や生殖補助医療で子どもをもつことには、親子についての法的な課題も生じます。認知症で判断力の弱った高齢の親の財産関係については、新しく成年後見制度が設けられました。また、家庭を持ちながら働く上でライフ・ワーク・バランスという考え方も注目されてきています。女性が家庭生活と職業生活を営む上で法律の果たす機能と、課題についても考察します。

この授業では、家族法の基礎知識の習得をし、現代の職業人が家族生活を営む上で課題をめぐる法制度状況について理解を深めることを目的とします。

内容

1	家族問題と法
2	婚姻と法
3	婚姻と財産
4	離婚と法
5	離婚と財産と子ども
6	親子
7	内縁と認知
8	家族法の現代的問題
9	氏と戸籍
10	扶養・成年後見
11	相続 相続人と相続財産
12	相続 法定相続
13	遺言・遺留分
14	働く女性と法
15	総括

評価

提出物・受講態度(50点)、ペーパーテスト(50点)を総合して評価します。

100点満点中60点が単位取得の下限です。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】 『家族の法[第3版]』 利谷信義 （有斐閣）

【参考図書】 『デイリー六法』（三省堂） その他の六法も可

科目名	日本国憲法		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択, 必修*
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係	中学校教諭二種免許状(国語) / 中学校教諭二種免許状(英語)		

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 科目の性格

本科目は「共通基礎科目」中の共通科目である。また、教職課程を履修している者については、教員免許法に定める免許状取得のための必修科目である。

2. 科目の概要

本科目は、日本国憲法の概要について取り扱うものである。間もなく社会人になる者として、立憲主義、法治国家、議会制民主主義の意味について認識を深めることを目的とする。

3. 学修目標

本科目の学修目標は以下の3点である。 法治国家における「憲法」の意義について理解することができる。 日本国憲法の特色について理解することができる。 憲法が存在を自分の暮らしとの関係で捉えることができる。

内容

- 1 民主政治の基本原則
- 2 政治と法
- 3 国民主権と民主政治
- 4 日本国憲法の基本理念
- 5 民主政治と基本的人権
- 6 自由権的基本権 法の下での平等 社会権的基本権
- 7 現代社会と基本的人権 基本的人権と公共の福祉
- 8 平和主義と防衛問題
- 9 政治機構と政治の運用
- 10 議会政治の原理 行政権の機構とはたらき
- 11 裁判所
- 12 日本の政治の実態と問題
- 13 政党と選挙 世論と大衆運動
- 14 戦後日本の政治過程 国際政治と日本
- 15 まとめ

評価

毎回授業冒頭の小テスト50：試験50の割合で評価(100点満点)し、60点以上を単位認定する。合格点に満たなかった場合は、「再試験」を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】 テキストは使用しない。授業中に随時プリントを配布する。

【参考図書】 憲法に関する図書は多数刊行されているが、「新書」版のもので、本学図書館に収蔵されているものを利用すること。授業中にも随時紹介する。

科目名	女性と社会		
担当教員名	橋本 ヒロ子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

本科目は共通科目の科目の一つ

科目の概要

海外の女性の社会的、経済的、政治的状況について、日本女性の実態と比較しながら学ぶ。

ダボス会議を開催している世界経済フォーラムが毎年発表しているジェンダーギャップ指数で、日本の順位は2010年94位、2011年は98位に落ちた。先進国だけでなく多くの開発途上国よりも日本の順位は低いのである。その主な理由は、日本女性の経済力のなさ、政治への参加が低いことである。日本女性のこの社会的地位の低さを改善するためには、各国の女性の状況について学ぶ必要がある。

そのため、各国における女性の状況を労働、教育、暴力、政治参加、高齢者、貧困などの様々な領域でビデオ、ゲスト講師の講義などによりビジュアルに学んでいく。自分で選んだ国の女性の教育などについて最終レポートを作成する。

学修目標

海外の女性の状況を学ぶことで、日本の女性の国際的な社会的・政治的・経済的状況を把握し、学生一人一人が、女性の一人として、今後何をすればよいか考える機会となることが目標

内容

1	女性の社会参画の国際比較を学ぶ目的 国際的な女性の地位の比較、女性の地位向上の為の課題
2	国際的な政治参加の状況 女性がなぜ政策決定に少ないか、女性が政治にでるとどう変わるか？
3	女性の人身取引1 東ヨーロッパの女性 【買われ・売られて】
4	課題1 新聞切り抜きの報告 女性の人身取引2【売買される女性たち】
5	世界各地の宗教、文化、風習と女性【女性に対する暴力：文化、風習】
6	ゲスト講師 川崎けい子さんの講義「アフガニスタンの女性と子ども」と質疑
7	課題2 新聞切り抜きの報告 アフガニスタン、イスラム圏の女性の状況について
8	女性に対する暴力 DV、女性差別撤廃条約、女性に対する暴力撤廃デー、FGM
9	女性の識字・教育を考える：男女、都市農村別、宗教による違い【ミーナのえがお】
10	女性と経済：各国における女性・男性の働き方 【女性・男性の働き方】
11	女性と貧困 【貧困の女性化】母子家庭の貧困 女性高齢者の貧困
12	国連安保理決議1325 紛争解決と平和構築における女性【平和を作る女性たち】
13	女性の地位を測る指標、ジェンダー統計 【自立を目指して】
14	課題の報告 女性と環境、女兒、【女兒・子どもと未来のために】
15	レポートの報告

評価

レポートの内容(60%)、課題提出物の内容(20%)、ワークシートの内容など平常点(20%)

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

推薦書：ジョニー・シーガー著、原民子、木村くに子訳『地図で見る世界の女性』明石書店 2005

落合美恵子、山根真理、宮坂靖子『アジアの家族とジェンダー』勁草書房、2007

参考文献：雑誌 季刊『女たちの21世紀』アジア女性資料センター

科目名	くらしの経済		
担当教員名	込江 雅彦		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

短期大学部の共通科目である。

科目の概要

経済学の基礎を学習し、現実経済の諸問題について考察できるように講義する。また、日本経済が抱える諸問題、円高、財政赤字、震災復興、社会保障などの問題について重点的に扱う。

学修目標

経済学の基礎的概念を理解する。また、日本経済の代表的な問題について理解し、自分の意見を持つようにする。

内容

1	ガイダンス
2	経済学の考え方
3	ミクロ経済学 1
4	ミクロ経済学 2
5	マクロ経済学 1
6	マクロ経済学 2
7	金融政策
8	財政政策
9	中間試験
10	バブル崩壊後の日本経済
11	社会保障
12	日本的経営
13	外国為替政策
14	世界金融危機と日本
15	まとめ

評価

中間試験(30%)、最終試験(70%)

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

授業中に指示する。

科目名	くらしの心理学		
担当教員名	飯高 晶子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は共通科目に開講される選択科目の授業です。

科目の内容

本講義では、心理学の中から、特に私たちのくらしに関連の深いトピックスを取り上げ、日常生活に役立つ心理学的な知見を学んでいきます。具体的には、知覚、記憶、学習などの基礎分野から、人間の発達や他者との関わりの心理など、幅広い分野についてのテーマを学習していきます。

学修目標

- 1.心理学とはどのような学問かを理解し、心理学的な視点で日常を見つめ直すことができる
- 2.知覚・学習・記憶・思考などの心理学の基礎分野について理解できる
- 3.人間の発達の様相や他者との関わりの心理について理解できる
- 4.心の健康とは何か、カウンセリングにはどのような理論や方法があるか理解できる

内容

1	ガイダンス 心理学とは何か
2	知覚 見る仕組み
3	記憶 記憶の仕組み
4	学習と思考 学習とは、さまざまな推理
5	動機づけ・情動 動機づけの意義とは
6	発達(1) 知的な発達
7	発達(2) 社会性の発達
8	性格 性格をとらえる理論
9	自己理解 自分自身について考える
10	対人関係 他者との関わりにおける心のはたらき
11	社会的影響 他者の存在の影響
12	心と身体 身体に着目して相手の心を理解する
13	心の健康とカウンセリング(1) ストレスと心の健康
14	心の健康とカウンセリング(2) カウンセリングの理論
15	まとめ

評価

授業内小レポート(30点)、試験(60点)、通常の授業態度(10点)により評価を行い、60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【教科書】小山望著『人間関係がよくわかる心理学』福村出版

【参考図書】鹿取廣人／杉本敏夫／鳥居修晃〔編〕『心理学第4版』東京大学出版会

その他、授業時に適宜紹介します。

科目名	女性と食物		
担当教員名	徳野 裕子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格；女性と食物の科目は、共通選択科目に位置付けられている。また、公開授業にもなっているため、社会人の方も含まれる。さまざまな人たちと受講できる環境となっている。

科目の概要；今世紀は女性がますます社会において活躍できる時代と言われている。しかしながら一方で女性の体を取巻く環境は苛酷な状況を迎えつつある。そこで、この授業では、女性としての自分自身の健康について現在の状況を把握し、女性が健康であることの重要性について意識してもらい、自己コントロールすることの大切さを認識してもらいたいと思う。

女性として健康を維持するための食物とのかかわり方を歴史、環境、生活そして食材の品質や味覚といったさまざまな方面からテーマを取り上げ、体験し考えながら授業を進めたいと思う。

学修目標；

- 1．自分の食生活と健康の関係について考えることができるようになる。
- 2．食生活を取り巻く現在の環境状況について意識できるようになる。
- 3．年代別に必要な食生活について理解できるようになる。

内容

1	現在の食生活と健康
2	食事バランスガイドについて
3	自分の健康状況の把握
4	健康を維持するための食品とは(栄養と食品)
5	新たな食品(保健機能食品など)とのかかわり方
6	食物を取巻く環境について1
7	食物を取巻く環境について2
8	食品の安全性について
9	食材の選び方
10	ライフステージ別(妊産婦)の食生活
11	ライフステージ別(乳幼児)の食生活
12	ライフステージ別(成人から高齢者)の食生活
13	調理実習
14	調理実習
15	まとめ

評価

平常点25点、レポート25点、期末テスト50点とし、60点以上を合格とする。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

【教科書】石井克枝 監修 『ヘルシーデータ』教育図書株式会社

【推薦図書】藤城敏幸 著 『生活と環境』 東京教学社

科目名	音楽		
担当教員名	清水 玲子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

音を楽しむことを知り、音楽の役割を広い意味で捉えられるようにすることが本講座のねらいである。クラシック音楽から身の回りにある音楽まであらゆるジャンルの音楽(例えば幼児期に聞いたことのある童謡やテレビの主題歌、学校教育の中で学んだ音楽、自分が興味を持って好んで聴く音楽など)を取り上げて、自分の中の音楽文化がどのように育ったかを認識する。そして音楽を通しての情操教育の大切さを確認し、これから自分と音楽とがどのようにして関っていくかを考える。さらに音楽を日常生活に上手にとり入れていく方法、音楽と心の関係、現代社会のストレス解消など生涯学習としての音楽の役割も考察する。

内容

主に音楽鑑賞や簡単な実技・講義形態をとる。

- (1)「自分を取りまく音楽」について
- (2)「映像と音楽」の関係 - ディズニー - の世界
- (3)「映像と音楽」の関係 - ジブリの世界
- (4)合わせる楽しさの音楽について(コーラスやアンサンブルの楽しさを知る)
- (5)自分の中にある音楽文化の認識
- (6)「日本のこどもの歌」の歴史について(童謡・小学校時代の歌)
- (7)「世界のこどもの歌」について
- (8)作曲について
- (9)編曲について
- (10)クラシック音楽について(背景文化との比較)
- (11)楽器について
- (12)オーケストラと指揮者について
- (13)ミュージカル音楽について(オペラからの歴史)
- (14)ミュージカル音楽について(場面と音楽の関係)
- (15)まとめ

評価

毎回ごとの課題レポート(70%)、通常の授業態度(30%)と、三分の二以上の出席することで評価を受けることができる。合格点に満たない場合は「再試験」を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

適宜、テキスト・プリント・CDを使用し、授業で紹介していく。

科目名	美術		
担当教員名	平田 智久		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

美術の歴史は、人間の歴史と共に古い。

美術には、もともと人間の一番大切なものを伝えたり、表したりする力がある。わたしたちの目の前のものを伝えるだけでなく、見知らぬ遠い国のことや、目に見えない奥深い心の世界などを出現させることもできる。主に視覚や触覚を通して“もの”に関わり、感じ考え心を表したりする造形行動は、生活をより豊かにする営みであるばかりでなく、人間同士理解し合える手段として欠かせない行動のひとつである。

科目の概要

そうした人間にとって重要な生きる手段としての造形を、どのようにすれば身につけていけるだろうか。ともすると造形嫌いになったり、造形行動に無関心になっている学生に、造形行動の大切さや楽しさを体中の感覚を駆使して再認識してもらうことが第一のねらいである。

学修目標

そのねらいが達成されることで、自己の感性を再認識し自己の価値観を多様にする。目に見えない心の言葉を表しているといってもよいだろう。様々な美術の歴史や、あり方を理解することにより、より一層わたしたちの生活を豊かなものにし、更に創造力を高めることができる。

内容

大人になると、すでに造形的な価値観も獲得しているが、いわゆる上手下手という狭義の結果論がその価値基準になっていることが多い。造形的行為や行動、造形表現の技術などは、“もの”との直接体験からの感受習得が望ましい。美術の歴史は、紀元前の洞窟の絵画からはじまったといわれている。様々な表現の歴史を探ることによって、人にはなぜ美術が必要なのか？を、講義と実技を通して理解を深めていく。

1. 、プロローグ
2. 、感覚への刺激1
3. 感覚への刺激2
4. 感覚への刺激3
5. 感覚への刺激4
6. 感覚への刺激5
7. 感覚への刺激6
8. 感覚への刺激7
9. 、イメージの拡大・拡散1
10. イメージの拡大・拡散2
11. イメージの拡大・拡散3
12. イメージの拡大・拡散4
13. 、美術史の新しい視点
14. 、美術史の新しい視点

15. 、エピローグ

評価

授業中の製作態度 40% 課題作品の成果 60% を総合して評価する。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

特に定めない。授業の中で紹介していく。

科目名	日常生活とコンピュータ		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	前期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

みなさんは、1年次の必修科目で情報処理演習を実習します。それに対し、この科目は、講義科目として、コンピュータのしくみや利用法を学んでいきます。

コンピュータが使用されている製品や、本体のしくみについて改めて学習し、色々な発見をしたり、知識の幅を広げたりすることにより、コンピュータに親しみを覚えていただけたきたいと思います。

皆さんの身近なところには、知らず知らずのうちに、コンピュータシステムを利用したものがたくさんあります。コンピュータシステムを利用した家電製品が家庭の中に広がり、半ば必需品となっています。そして、さまざまは情報通信網を利用した双方向通信の可能なインターネットシステムや、携帯端末など、日常生活には当たり前のように普及しています。一方で、便利さと危険性が隣り合わせでもあり、たくさんの知識も必要とされています。これからは、コンピュータの仕組みなどを知り、ゲームや文章や表計算などのソフトを使うときだけでなく、みなさんの将来的にも、コンピュータ全般の利用価値を高める糸口になれば嬉しいです。

内容

1	私たちを取り巻くコンピュータの環境について
2	コンピュータの種類とコンピュータの簡単な仕組みについて
3	OSやアプリケーション・ソフトウェアの役割について
4	コンピュータを分解して理解する
5	ノートPCや携帯電話を分解し、仕組みを知る
6	情報の流れのしくみと意味を学ぶ
7	地上デジタル放送、テレビのしくみ、放送について理解を深める
8	周辺機器のはたらきについて
9	インターネットの成り立ち、はたらき 電子メール、WWWの利用について
10	コンピュータの歴史 コンピュータの言葉
11	家電製品のしくみや街のイルミネーションなど身近な電子機器について
12	身の回りにあるコンピュータやネットワークについて
13	インターネットの危険性と回避策について
14	全体の復習
15	まとめ

評価

各回の講義終了時にプリント提出30点、半期で2回のレポート20点、試験50点。総合得点60点以上で合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教材は、授業ごとにプリントを配布。

【参考図書】

米村貴裕 『やさしいIT講座』

新星出版社 『パソコンのしくみ』

山形浩生 監修 『コンピュータ』

日経BP ソフトプレス 『パソコンのしくみ』

山田宏尚 著 『コンピュータのしくみ』

坂村健 『ユビキタスでつくる情報社会基盤』

エクスメディア 『パソコン用語集』 など、必要に応じて授業中に紹介する。

科目名	先人たちの知恵と思索		
担当教員名	橋本 克己		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

1. 科目の性格

本科目は「共通基礎科目」なかの共通科目である。

2. 科目の概要

本科目は、主に西洋の先哲に焦点をあてて、その倫理思想について学ぼうとするものである。先哲についての資料を読みながら、それら倫理思想の現代的意義について考え、現代社会における「人間が生きるということの意味」や「人間の在り方」について考えることを中心的課題として展開する。

3. 学修目標

本科目の学修目標は、以下の3点である。先哲思想の概要について理解することができる。先哲の資料を読んで理解することができる。現在の自分の生き方に対照して先哲の「ことば」を解釈することができる。

内容

- 1 古代ギリシアの思想(ソクラテス以前)
- 2 ソクラテスの思想
- 3 プラトンの思想
- 4 アリストテレスの思想
- 5 初期キリスト教哲学(教父の時代)
- 6 スコラ哲学の歴史
- 7 ルネサンス期の思想
- 8 近代的自我のめざめ
- 9 大陸合理論の思想
- 10 イギリス経験論の思想
- 11 ドイツ観念論哲学(カントの思想)
- 12 フィヒテとヘーゲルの思想
- 13 ルソーの思想
- 14 近代的教育思想
- 15 まとめ

評価

小テスト30点、レポート20点、筆記試験50点の配点で評価し、合計60点以上を単位認定する。合格点に満たなかった場合には「再試験」を行う。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

【テキスト】 テキストは使用しない。授業中に随時プリントを配布する。

【参考図書】 高等学校で使用した公民科「倫理」および「現代社会」の教科書と副読本は大いに活用できる。

科目名	くらしの中のEco		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

共通選択科目に位置する科目です。E c oについて、幅広く学びます。

E c oには、エコロジーとエコノミーの意味があります。この講義では、その両方を学びます。世界的な規模での見方を学びつつ、身近にあるE c oにも目を向けて欲しいと思います。

漠然と聞いたことがある言葉やニュースを自分の知識に変えられるように学修します。さまざまな事柄を、体系的にとらえることができれば、社会の一員になる自信が持てるのではないのでしょうか。一般常識に目を向け、教養を広めることをねらいとしています。

内容

1	E c oとは? いろいろな「E c o」について
2	エコロジー (Ecology) について
3	「E c o」と環境問題について
4	日本のエコ活動について
5	「E c o」をしないと世界はどうなるのか
6	エコカーをとりまく環境について
7	エコノミー (Economy) について
8	円高と円安について
9	日本の景気について
10	税金について
11	行政と仕分け人について
12	生活の中の身近なエコ活動
13	家庭の中でできるエコ活動
14	みんなができるエコ活動
15	まとめ

評価

毎回行う小レポートまたはディスカッションで70点(5点×14回)、最後に行うテスト30点 総合して60点以上を合格とします。

教科書・推薦書(著者名・書名・出版社名)

教科書は使用せず、毎回、プリント教材を配布します。

科目名	ファッション文化		
担当教員名	加藤 暁子		
ナンバリング			
学 科	短期大学部-2012年度シラバス		
学 年	2	ク ラ ス	
開 講 期	後期	必修・選択の別	選択
授 業 形 態		単 位 数	2
資 格 関 係			

ねらい(科目の性格 科目の概要 学修目標)

科目の性格

この科目は、共通選択科目に位置します。人の第一印象は、身だしなみが大きく左右します。女性だから楽しめるオシャレ、女性が美しく見える服装、顔の近くに置くものの色の使い方だけでも、人の印象は変わるということを知るだけでも楽しいものです。今ではあまり考えなくなったTPOを見直し、社会にでる準備に役立てましょう。

科目の概要

女性としての知っておきたいファッションについてを文化的に、広く浅く学びます。

学修目標

人が衣服をまとった歴史をはじめ、繊維やパターンなど、被服全般について学修します。「服装」や「衣服」について全般的に学び、これから始まる就職活動にも役立つこともねらいます。そして、仕事に就く女性の身だしなみ、洗礼された都会の女性の美しさ、妻として母親として知っておきたい衣服の知識などを学修します。また、実際に街に出て行き社会科見学も予定しています。眼と肌で都会の雰囲気を感じることにより、気持ちが活動的になり、就職活動への恐怖心などの”壁”を一枚でも取り払えることを望みます。

内容

1	ファッション(装い)について
2	ファッションの歴史(西洋服飾史1)
3	ファッションの歴史(西洋服飾史2)
4	ファッションの歴史(日本服飾史)
5	基本的な被服構成
6	日本の染色技術
7	繊維と被服整理
8	色について
9	織物あれこれ
10	足の科学 靴の歴史と種類と選び方
11	都心のファッション研究(1) 表参道・原宿から学ぶ
12	都心のファッション研究(2) 六本木のOLから学ぶ
13	都心のファッション研究(3) 霞が関・丸の内・大手町のOLから学ぶ
14	都心のファッション研究(4) 新橋・品川・汐留・お台場から学ぶ
15	まとめ

評価

毎回行う小レポートまたはディスカッションで70点(5点×14回)、最後に行うテストまたはレポート30点。総合得点が60点以上を合格点とします。

教科書・推薦書（著者名・書名・出版社名）

各回ごとに、数冊のテキストを使用するため、教材はプリントを配布します。

参考図書は、その都度紹介します。